

BAIAS  
EX-TREND武蔵連携機能  
操作手順書

株式会社GRIFFY

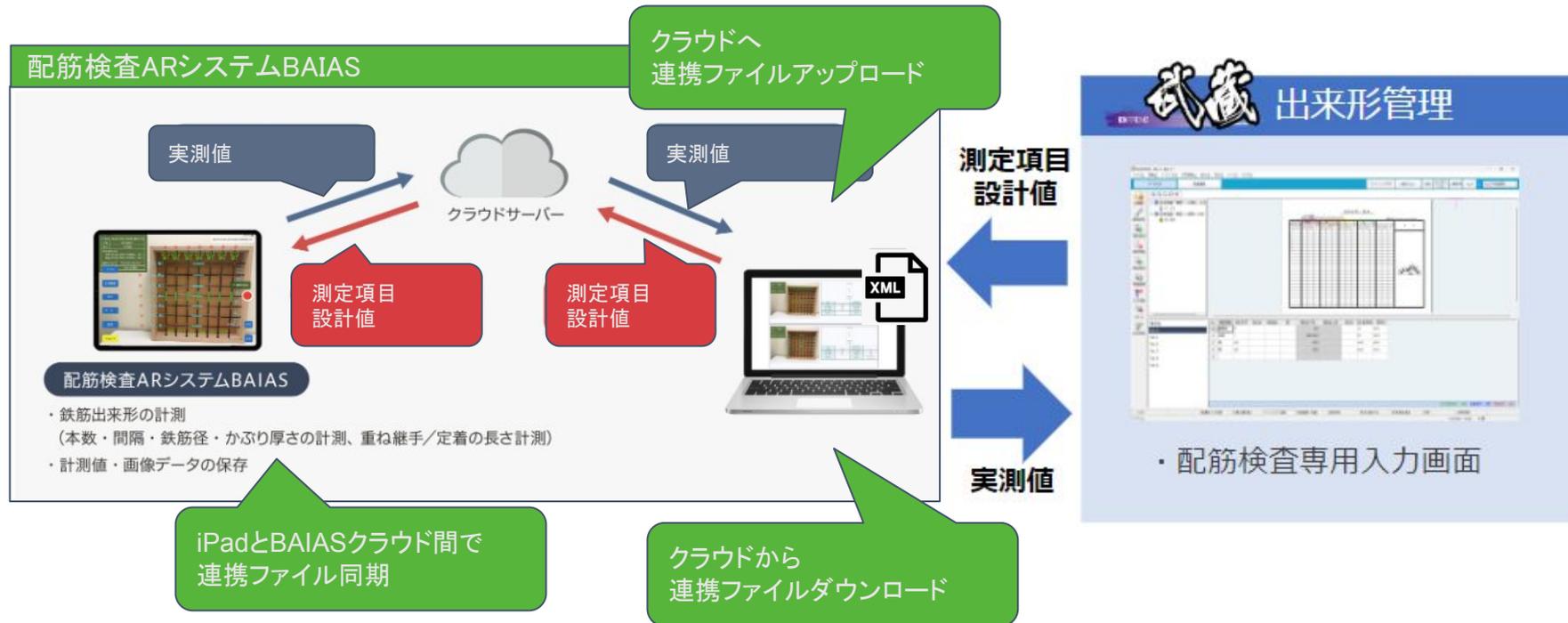
令和7年6月25日

# はじめに

- 本書はEX-TREND武蔵連携機能の操作手順書です。  
BAIASの概要・他機能の操作方法は別紙の取扱説明書を参照してください。  
取扱説明書はクラウド管理画面にログイン後、ヘルプ画面からダウンロードできます。
  - クラウド管理画面 : <https://baias.gembaroid.jp>

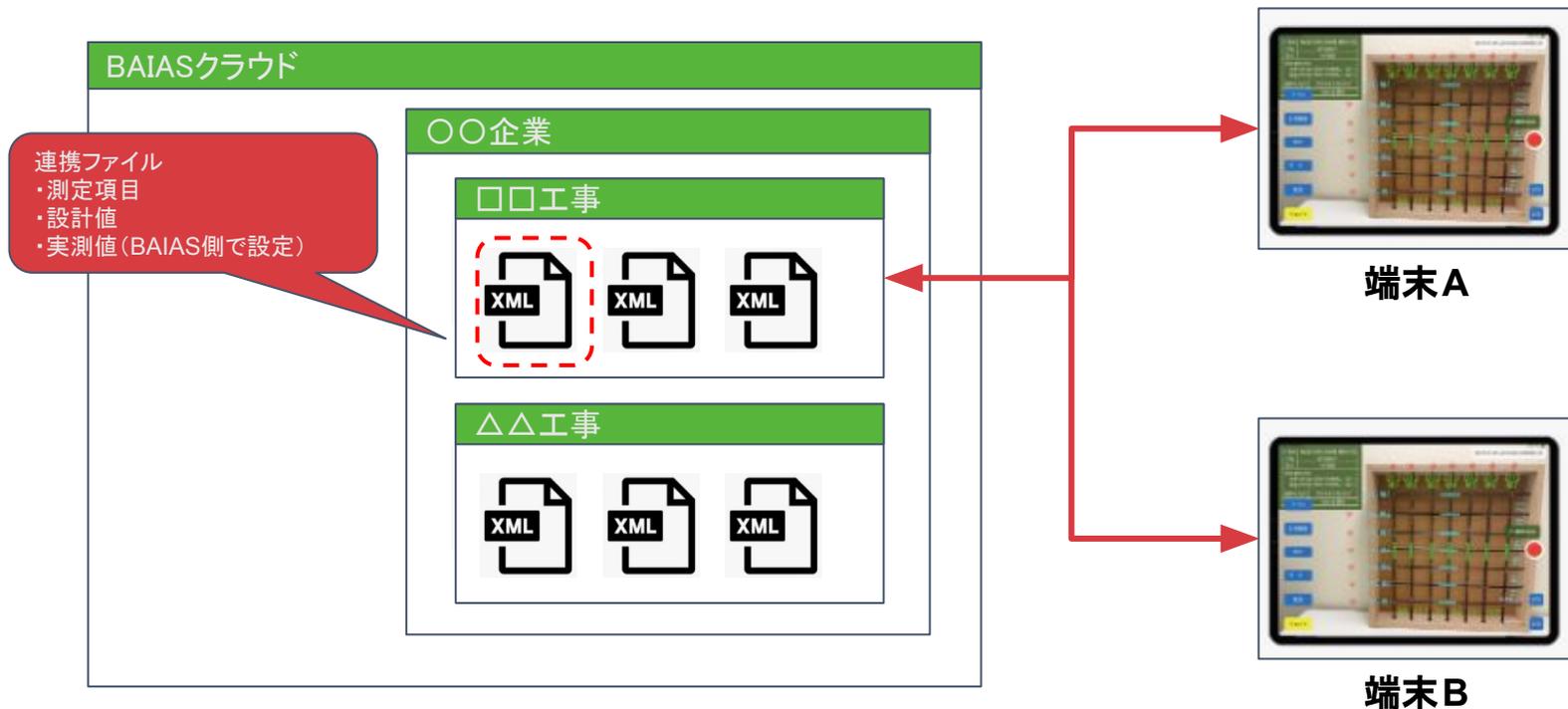
# BAIAS EX-TREND武蔵との連携イメージ

EX-TREND武蔵から出力される連携ファイルを利用します。  
BAIASのiPadアプリ(以下、BAIASアプリ)はBAIASクラウドを介してEX-TREND武蔵と連携します。



# BAIAS EX-TREND武蔵との連携イメージ

BAIASクラウドは工事単位で連携ファイルを管理します。  
アップロードされた連携ファイルは複数台の端末で利用できます。

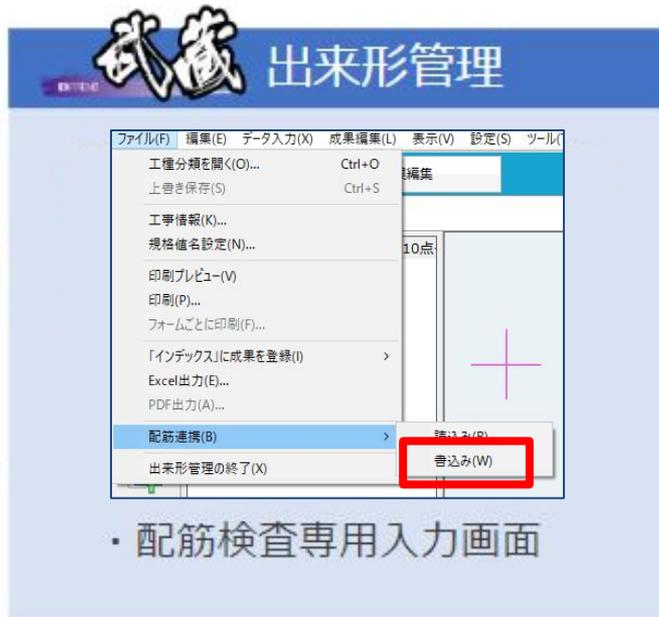


# 操作手順 目次

1. BAIASクラウドへ連携ファイルのアップロード
2. 連携ファイルをBAIASアプリに同期
3. 設計値を選択
4. 実測値の書き込み
5. 実測値を同期
6. 連携ファイルのダウンロード
7. 連携ファイルの内容確認
8. 連携ファイルの削除
9. 制限事項
10. トラブルシューティング

# 1.BAIASクラウドへ連携ファイルのアップロード

あらかじめEX-TREND武蔵から連携ファイル(XML形式)をエクスポートします。



連携ファイル

# 1.BAIASクラウドへ連携ファイルのアップロード

BAIASクラウドの管理画面にログインして対象の工事の画像選択画面を表示します。  
EX-TREND武蔵連携ボタンをクリックすると、連携画面へ遷移します。



対象の工事名を  
クリック

ログイン後画面



対象の工事の画像選択画面

# 1.BAIASクラウドへ連携ファイルのアップロード

連携画面にはBAIASクラウドにアップロードされた連携ファイルが一覧表示されます。  
アップロードボタンをクリックし、アップロード画面を開きます。



The screenshot displays the EX-TREND cloud interface. At the top, there is a navigation bar with the title '配筋検査システム' and several utility buttons: 'ライセンス', '工事選択', '設定', and 'ヘルプ'. On the right side of the navigation bar, the user is identified as '連携デモアカウント (管理者)'. Below the navigation bar, a blue header bar contains the text 'EX-TREND武蔵連携' and a prominent 'アップロード' button with a red border. The main content area features a table of construction items under the heading '工事'. The table has five columns: '構造物ID', '工程/種別/細別', '構造物番号', '部材', and '最終更新日'. Each row includes a 'ダウンロード' (download) icon and a '閲覧' (view) button.

構造物ID	工程/種別/細別	構造物番号	部材	最終更新日	
1	工程1 種別1 細別1	MA-E100	部材1	2024/05/09 10:16:08	閲覧
2	工程2 種別2 細別2	MA-E200	部材2	2024/05/09 10:16:15	閲覧
3	工程9 種別9 細別9	MA-E900	部材9	2024/05/09 10:16:20	閲覧

連携画面

# 1.BAIASクラウドへ連携ファイルのアップロード

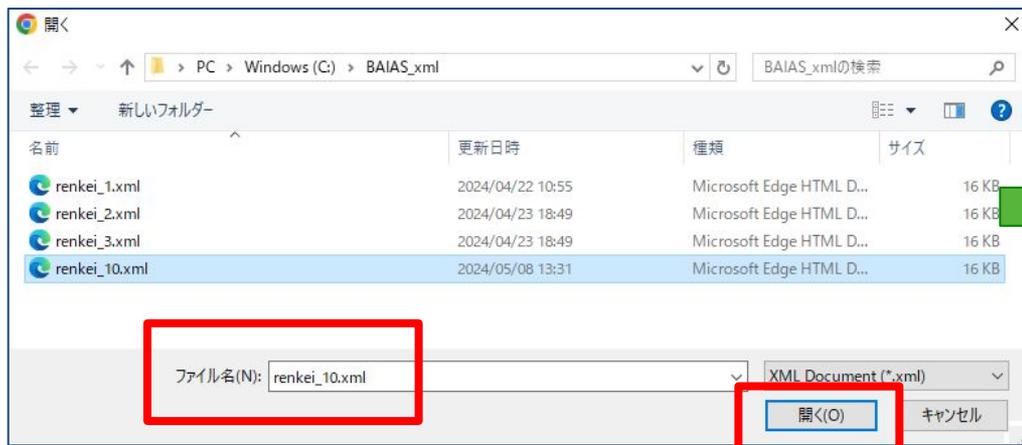
「ファイルを選択」をクリックし、アップロードする連携ファイルを選択します。



連携ファイルアップロード画面

# 1.BAIASクラウドへ連携ファイルのアップロード

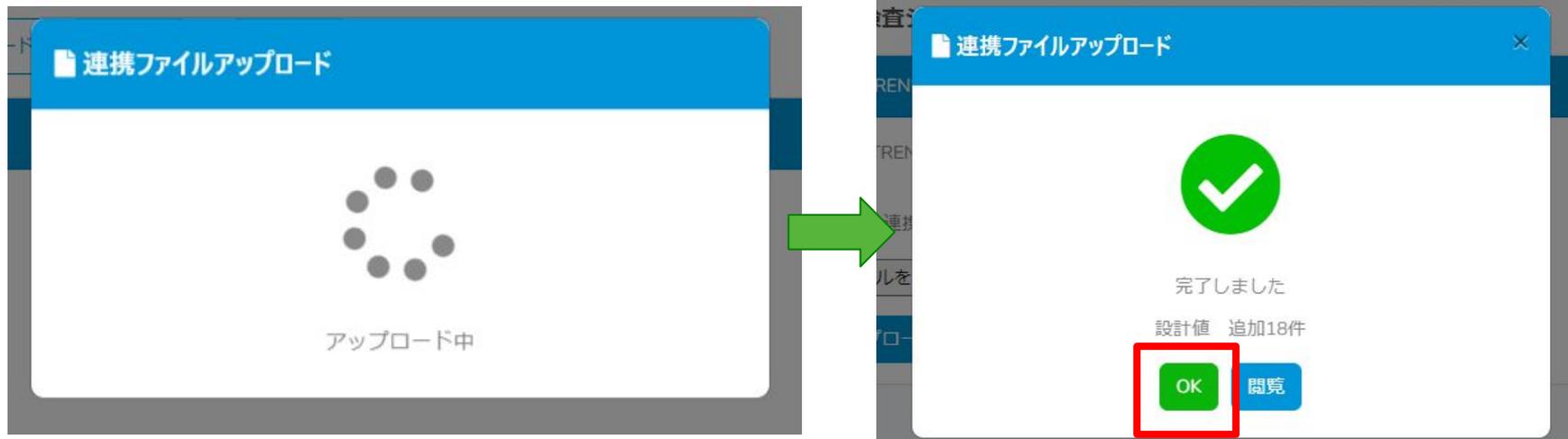
ファイルを選択するとアップロードボタンが青色に変化するので、クリックしてアップロードを実行します。



# 1.BAIASクラウドへ連携ファイルのアップロード

アップロードが完了すると結果がダイアログに表示されるので、OKボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

これで連携ファイルのアップロードは完了です。



## 2.連携ファイルをBAIASアプリに同期

BAIASアプリに連携ファイルを同期し、連携ファイルが持つ設計値を利用できる状態にします。  
他端末で既に実測値が設定されている測定項目がある場合、実測値も一緒に同期されます。



## 2.連携ファイルをBAIASアプリに同期

端末がインターネットに接続された状態で BAIASアプリを起動すると、連携ファイルが同期されます。



### 3.設計値を選択

保存先に連携ファイルがアップロードされている工事を選択し、ハンバーガーメニューの「外部連携機能」をタップします。



### 3.設計値を選択

「測定箇所を選択」をタップします。

The screenshot shows a mobile application interface for "EX-TREND 武蔵連携". At the top left is a back arrow icon labeled "戻る". The title "EX-TREND 武蔵連携" is centered at the top. Below the title, there are two sections for selecting measurement locations.

The first section is titled "タテ筋の測定箇所" (Trapezius Measurement Location). To its right are two buttons: "測定箇所を選択" (Select Measurement Location) and "リセット" (Reset). Below this title is a large white box containing the text "測定箇所が選択されていません。" (No measurement location is selected.) and a red dashed border around a red button labeled "測定箇所を選択" (Select Measurement Location).

The second section is titled "ヨコ筋の測定箇所" (Trapezius Measurement Location). To its right are two buttons: "測定箇所を選択" (Select Measurement Location) and "リセット" (Reset). Below this title is a large white box containing the text "測定箇所が選択されていません。" (No measurement location is selected.) and a red button labeled "測定箇所を選択" (Select Measurement Location).

### 3.設計値を選択

BAIASクラウドから取得した測定箇所が一覧で表示されるので選んでタップします。  
選択後は自動で外部連携機能画面へ戻ります。

< 戻る 測定箇所選択

工種1 種別1 細別1 MA-E100 部材1

主筋 上段 W1 上段 主筋 W1

主筋 下段 W2 下段 主筋 W2

配力筋 上段 S1 上段 配力筋 S1

配力筋 下段 S2 下段 配力筋 S2

工種10 種別10 細別10 MA-E1100 部材10

主筋 上段 W1 上段 主筋 W1

主筋 下段 W2 下段 主筋 W2

配力筋 上段 S1 上段 配力筋 S1

配力筋 下段 S2 下段 配力筋 S2

工種2 種別2 細別2 MA-E200 部材2

主筋 上段 W1 上段 主筋 W1

主筋 下段 W2 下段 主筋 W2

配力筋 上段 S1 上段 配力筋 S1

配力筋 下段 S2 下段 配力筋 S2

### 3.設計値を選択

選択した測定箇所の全ての測定項目に対する設計値が表示されます。  
この時点で実測値が存在する場合は実測値も表示されます。

< 戻る EX-TREND 武蔵連携

タテ筋の測定箇所 測定箇所を選択 リセット

構造物 工種 10 種別 10 細別 10 MA-E1100 部材 10 >> 測定箇所 主筋 上段 W1 上段 主筋 W1

計測項目	記号	単位	設計値	実測値
鉄筋径	φ	mm	13	
本数	n	本	4	4
平均間隔	D	mm	200.0	201.7
かぶり	t	mm	40	
重ね継手長	L	mm	1,500	

ヨコ筋の測定箇所 測定箇所を選択 リセット

測定箇所が選択されていません。

測定箇所を選択

### 3.設計値を選択

一度の計測で縦筋・横筋の両方を計測する際は、「タテ筋の測定箇所」  
「ヨコ筋の測定箇所」に対して測定箇所をそれぞれ選択してください。

< 戻る

EX-TREND 武蔵連携

タテ筋の測定箇所

測定箇所を選択 リセット

構造物 工種 10 種別 10 細別 10 MA-E1100 部材 10 >> 測定箇所 主筋 上段 W1 上段 主筋 W1

計測項目	記号	単位	設計値	実測値
鉄筋径	φ	mm	13	
本数	n	本	4	4
平均間隔	D	mm	200.0	201.7
かぶり	t	mm	40	
重ね継手長	L	mm	1,500	

ヨコ筋の測定箇所

測定箇所を選択 リセット

構造物 工種 10 種別 10 細別 10 MA-E1100 部材 10 >> 測定箇所 配力筋 上段 S1 上段 配力筋 S1

計測項目	記号	単位	設計値	実測値
鉄筋径	φ	mm	10	
本数	n	本	7	7
平均間隔	D	mm	100.0	98.5
かぶり	t	mm	30	

### 3.設計値を選択

電子小黒板を利用する場合は「小黒板設定」をタップして設定します。



### 3.設計値を選択

測定箇所の選択が完了したら、設定ボタンをタップして計測を開始します。



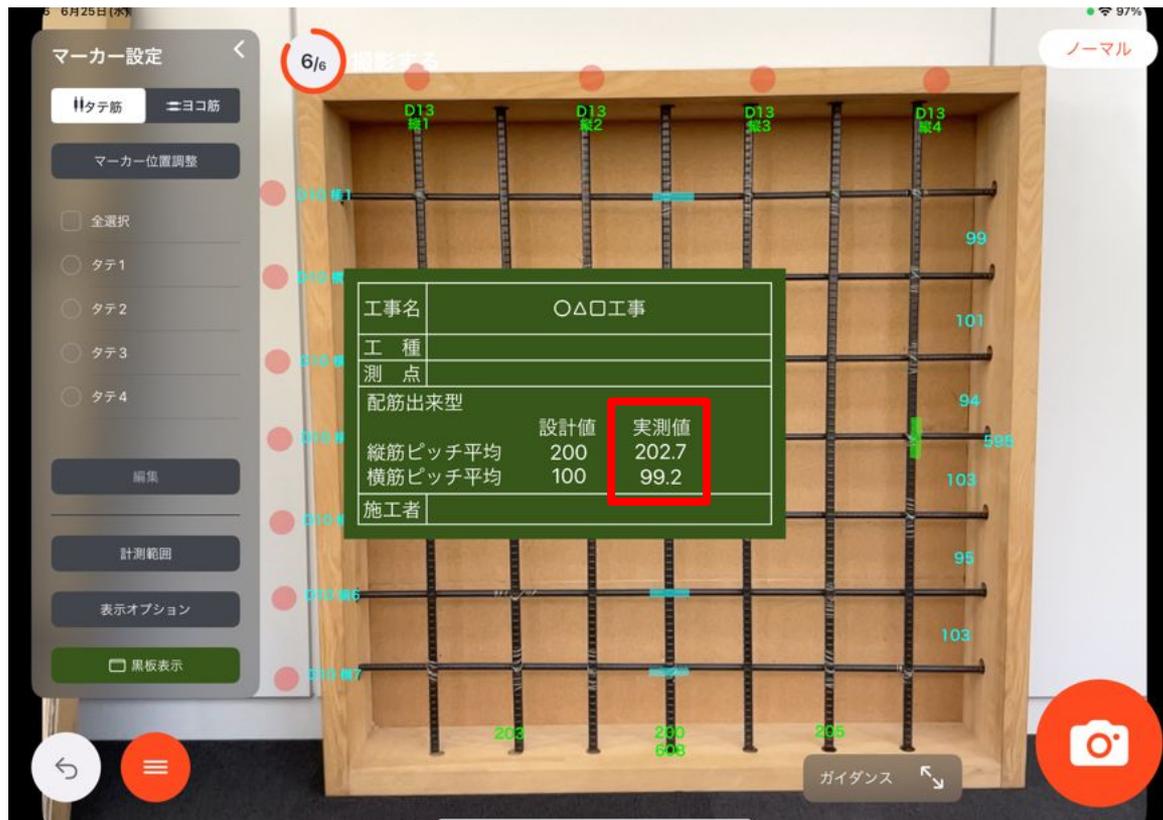
### 3.設計値を選択

選択した設計値は電子小黑板に反映されます。



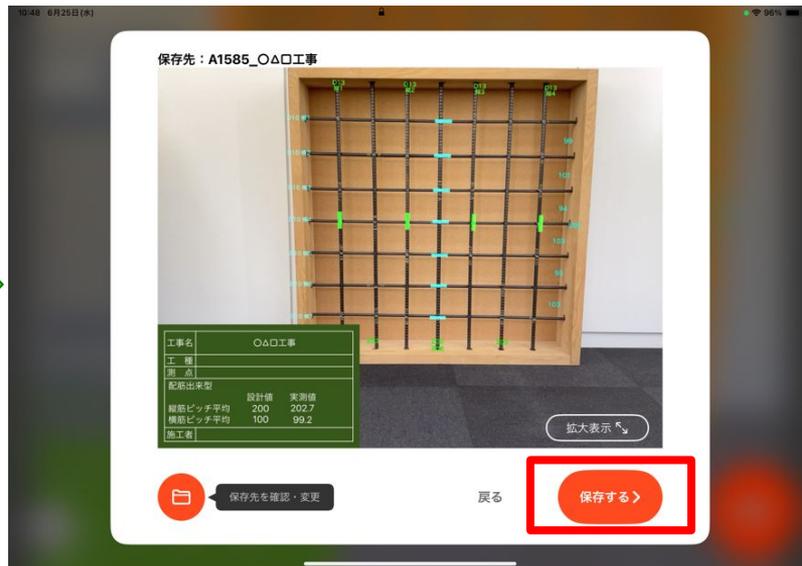
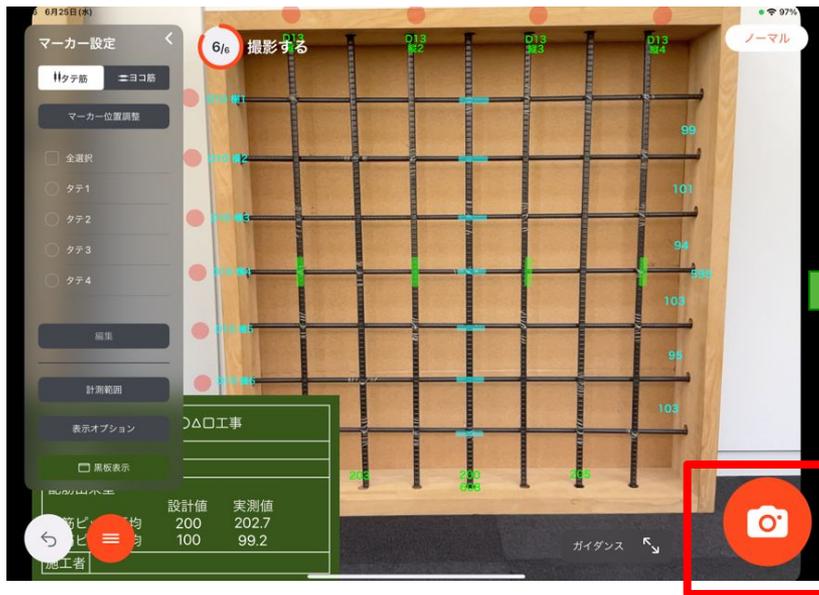
## 4.実測値の書き込み

計測が完了すると、電子小黒板に実測値が反映されます。



## 4.実測値の書き込み

黒板に実測値が反映された状態で計測結果を保存します。



## 4.実測値の書き込み

計測結果を保存すると実測値が連携ファイルに書き込まれます。

書き込まれた内容はハンバーガーメニューの「外部連携機能」をタップして確認できます。



撮影画面

EX-TREND 武蔵連携

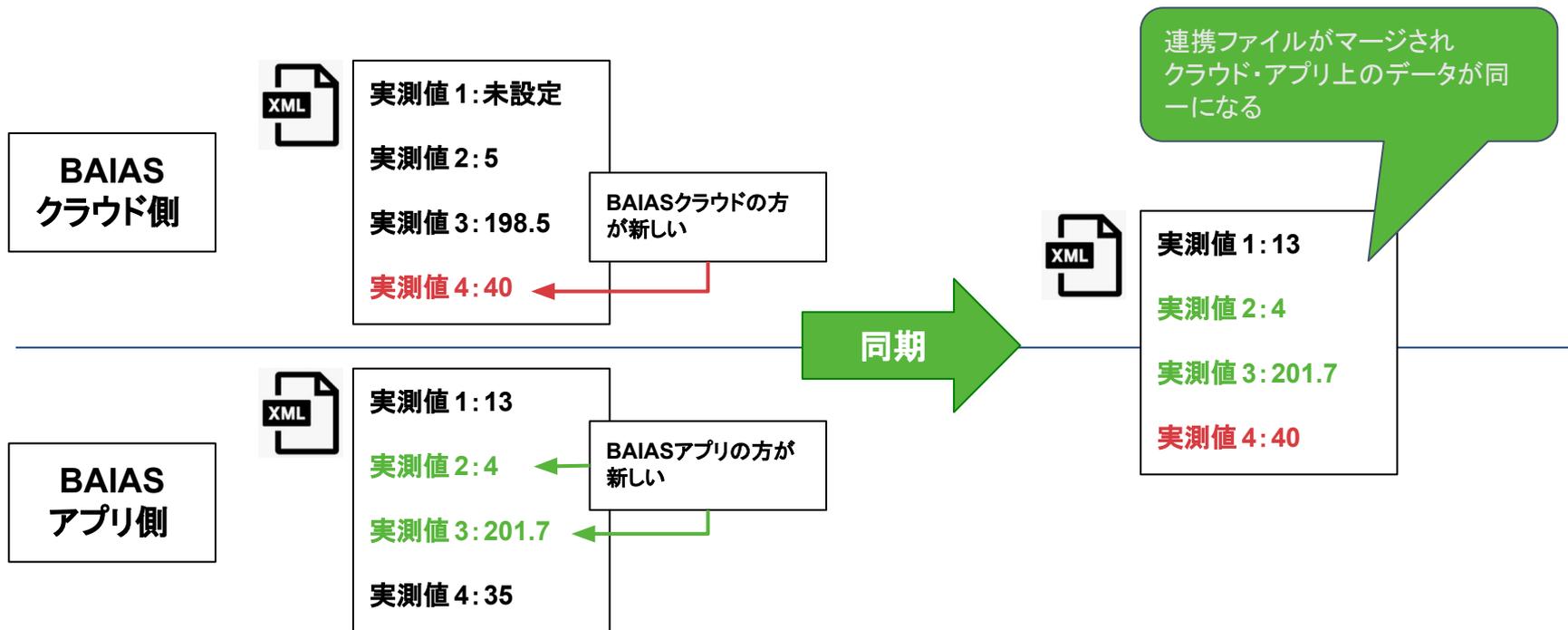
タテ筋の測定箇所 測定箇所を選択 リセット

構造物 工種 10 種別 10 細別 10 MA-E1100 部材 10 >> 測定箇所 主筋 上段 W1 上段 主筋 W1

計測項目	記号	単位	設計値	実測値
鉄筋径	φ	mm	13	4
本数	n	本	4	4
平均間隔	D	mm	200.0	202.7
かぶり	t	mm	40	
重ね継手長	L	mm	1,500	

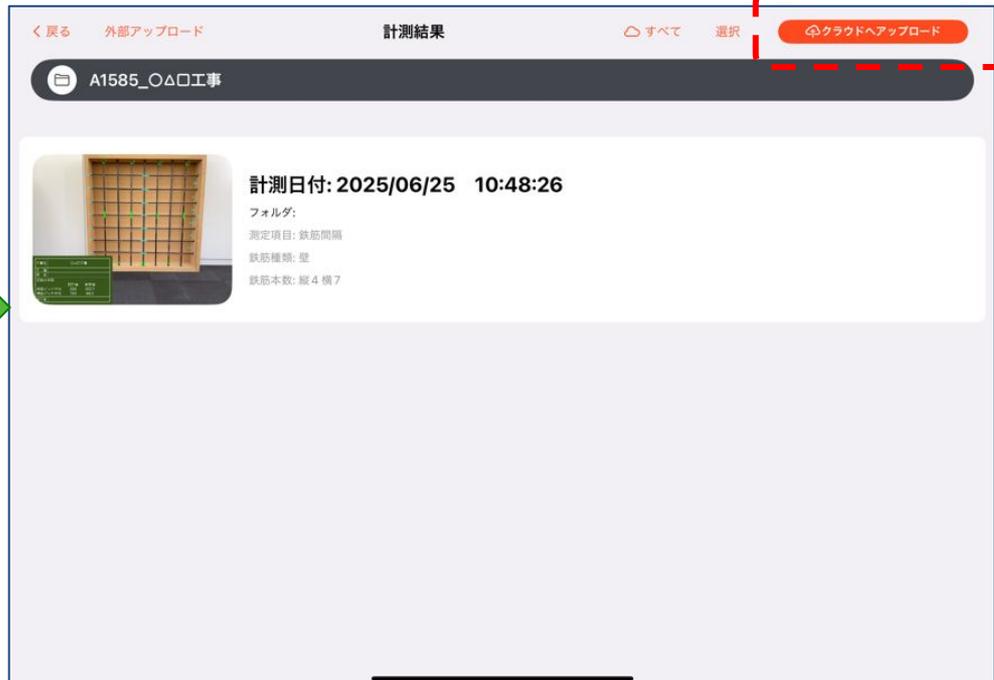
## 5.実測値を同期

実測値を書き込んだ連携ファイルを BAIASクラウドと同期します。  
BAIASクラウドから取得した連携ファイルに既に実測値が設定されている場合は、  
測定日時を比較してより新しい方の実測値が書き込まれます。



## 5.実測値を同期

実測値を書き込んだ連携ファイルがある工事の計測結果画面を開き、「クラウドへアップロード」をタップして同期を実行します。



## 6.連携ファイルのダウンロード

BAIASクラウドの管理画面にログインし、対象の工事の連携画面から実測値が設定された連携ファイルをダウンロードします。

配筋検査システム | ライセンス | 工事選択 | 設定 | ヘルプ | 連携デモアカウント (管理者)

EX-TREND 武蔵連携

○△□工事

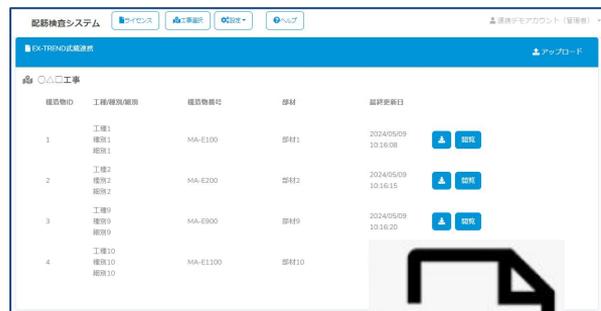
構造物ID	工程/種別/細別	構造物番号	部材	最終更新日	
1	工程1 種別1 細別1	MA-E100	部材1	2024/05/09 10:16:08	ダウンロード
2	工程2 種別2 細別2	MA-E200	部材2	2024/05/09 10:16:15	ダウンロード 閲覧
3	工程9 種別9 細別9	MA-E900	部材9	2024/05/09 10:16:20	ダウンロード 閲覧
4	工程10 種別10 細別10	MA-E1100	部材10	2024/05/09 11:27:41	ダウンロード 閲覧

ダウンロードボタンをクリック

○△□工事\_4.xml  
14.3 KB • 完了

## 6.連携ファイルのダウンロード

BAIASクラウドからダウンロードした連携ファイルを EX-TREND武蔵側にインポートし、BAIASアプリで計測した実測値を取り込みます。



連携物ID	工程/種別/階層	連携物種別	部材	最終更新日	
1	工程1 種別1 階層1	MA-E100	部材1	2024/05/09 10:16:08	↓ 連携
2	工程2 種別2 階層2	MA-E200	部材2	2024/05/09 10:16:15	↓ 連携
3	工程9 種別9 階層9	MA-E900	部材9	2024/05/09 10:16:20	↓ 連携
4	工程10 種別10 階層10	MA-E1100	部材10		



連携ファイル



武蔵 出来形管理

ファイル(F) 編集(E) データ入力(X) 成果編集(L) 表示(V) 設定(S) ツール(T)

- 工程分類を開く(O)... Ctrl+O
- 上書き保存(S) Ctrl+S
- 編集
- 工事情報(K)...
- 規格値名設定(N)...
- 印刷プレビュー(V)
- 印刷(P)...
- フォームごとに印刷(F)...
- 「インデックス」に成果を登録(I) >
- Excel出力(E)...
- PDF出力(A)...
- 配筋連携(B) > **読み込み(R)**
- 出来形管理の終了(X)

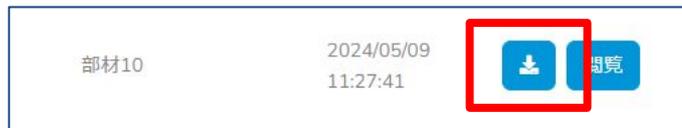
・配筋検査専用入力画面

## 7.連携ファイルの内容確認

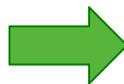
BAIASクラウドにアップロードされた連携ファイルの情報は閲覧画面で確認できます。  
閲覧画面は連携画面またはアップロード完了画面の閲覧ボタンをクリックして表示します。



アップロード完了画面



連携画面



## 8.連携ファイルの削除

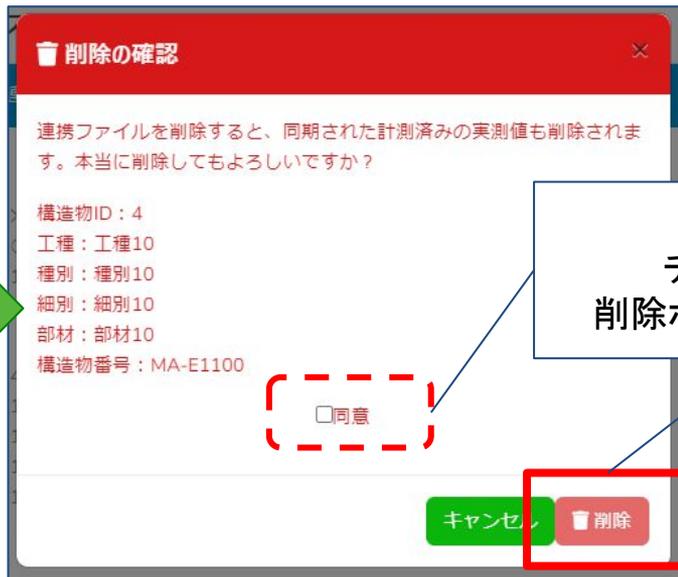
BAIASのシステム上から連携ファイルを削除します。

BAIASクラウドに連携ファイルの情報が表示されるだけでなく BAIASアプリに存在する実測値も完全に削除されるため、よく確認して実行してください。

削除対象の連携ファイルの閲覧画面から削除が可能です。



閲覧画面



「同意」に  
チェックして  
削除ボタンをクリック

## 9.制限事項

- BAIASクラウドに連携ファイルをアップロードすると、連携ファイルに含まれる実測値は全てリセットされます。
- BAIASアプリ側で設計値は変更しても EX-TREND武蔵側に反映されません。反映されるのは実測値のみです。
- 2点間計測・スペーサー一個数計測は連携未対応です。

## 10.トラブルシューティング

- BAIASクラウドから取得した連携ファイルを EX-TREND 武蔵にインポートするとエラーが発生して実測値の取り込みができない。

→連携ファイル名から BAIAS の工事名を削除してください。

連携ファイルの名称を変更してもファイル内のデータに影響はありません。